# 筑前町議会だより

# うぐいす

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI
年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電 話 0946−42−6622

バックナンバー
はこちらから



安野区 9月19日

野町区 9月20日




## 祝 敬老




山隈区 9月21日

## 健康・元気で「人生100年」をめざして！

掲載は上段左が安野区、右が野町区
下段が山隈区の各敬老会の写真です。
参加の皆さんが楽しく、懇親ができました。
他地区でも敬老の集いは行われています。

▶ 9月定例会・請願審査 …… P2〜
▶ 決算審査特別委員会 …… P4〜
▶ 議決結果 …… P6
▶ 町政を問う　一般質問 …… P7〜

第82号
2026.11

# 9月定例会

9月7日から18日の12日間の日程で開催。諮問2件、報告5件、議案17件、認定7件、発議1件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。



## 一般会計補正予算（第2号・第3号）

**2億6509万円を増額**

**補正後の予算総額：173億5538万円**

### 予算増の主なもの

- ●地方債繰上償還　1億3187万円
- ●特定教育・保育施設等給付（保育所等給食材料負担増支援）　1921万円
- ●大刀洗平和記念館施設改修　483万円

### 可決された主な議案など

●工事請負契約締結（小学校洋式トイレ改修）
- 中牟田小学校　1億450万円
- 東小田小学校　1億1880万円
- 三並小学校　8580万円

●工事請負契約締結　1億2100万円
金山池（きんざんいけ）土砂撤去及び豪雨対策工事

●財産の処分　5億3727万円
四三嶋工業団地処分（17，909．21㎡）
売却先：株式会社肥後産業



小学校トイレ改修工事

●子ども医療費の支給額及び支給対象者の拡充（条例の一部改正）
- ・18歳年度末まで入院費の自己負担なし
- ・外来の小中高校生相当年齢者の自己負担額を一律1000円/月（上限）

●ひとり親家庭等医療費・重度障害者医療費の支給額及び支給対象者の拡充（条例の一部改正）
- ・18歳年度末まで入院費の自己負担なし

●大刀洗平和記念館条例の一部改正
- ・入館料の改定（大人600円 ➡ 800円）

## 新人事の紹介

◆人権擁護委員（再任）
時津（ときつ）雅子（まさこ）氏
木許（きもと）敦子（あつこ）氏

筑前町の財政は健全?

# 令和7年度の財政健全化について

令和7年度決算に基づき、財政健全化判断比率の報告があり、いずれも本町では健全な財政運営がなされている事を確認。

| 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|---|---|---|---|
| 該当なし | 該当なし | 10.3% | 26.3% |
| (13.57%) | (18.57%) | (25.0%) | (350.0%) |

※(　)内は、早期健全化基準を掲載
※財政健全化法第22条第1項の規定(平成20年度から地方公共団体は、毎年度実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担等に関する指標(上記4項目)を公表することが義務化されている。

## ○令和7年度みなみの里経営状況が報告された

収入　9億3740万円(前年比101%)
利益　2967万円(前年比72%)
集客数　46万3965人(前年比97%)



請願審査

全員賛成で可決 → 国に意見書提出



## ○福岡県教職員組合朝倉支部より「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書が提出された。

[請願趣旨]

中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。さらなる少人数学級について検討するとともに、加配教員の増員など教職員定数改善を推進すること。また、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。2027年度政府予算編成において、地方自治法第99条の規定に基づき、国の関係機関に意見書を提出するもの。

# 町民のためにどう活かされた？ 229億円

## 決算審査特別委員会

### 『令和7年度決算を問う』



9月14日から16日の3日間の日程で開催。令和7年度、筑前町一般会計、国民健康保険事業等の4件の特別会計及び下水道事業会計及び上水道事業会計、並びに歳出総額約229億円の決算及び主要施策の成果等について、適正且つ効果的に行われたか審査を行った。

### 令和7年度一般会計歳出合計
**166億7560万円**

【主な目的別の歳出】

**総務費　26億1640万円**
財産管理、大刀洗平和記念館運営、交通活性化対策（チョイソコちくちゃん）、地方創生など

**民生費　58億5199万円**
社会福祉、児童福祉、障害者福祉、老人福祉など

**衛生費　13億276万円**
保健衛生、ごみ・し尿処理など

**農林水産業費　15億9634万円**
農業振興、農業土木、畜産振興、商工振興など

**土木費　13億2382万円**
道路新設改良・維持補修、町営住宅管理、公園管理など

**消防費　6億4336万円**
常設消防、消防団、消防施設、防災など

**教育費　17億5234万円**
学校教育、社会教育、文化財保護、保健体育など

### 消防団第2分団ポンプ車購入
**2601万円**



### 東小田小学校外壁屋上改修工事（工事監理含む）
**8866万円**

### 中牟田小学校外壁屋上改修工事（工事監理含む）
**7931万円**

### 三輪小学校ランチルーム等空調改修工事
**4840万円**

## 主な事業

### コスモスプラザ熱源空調改修工事
**3億5750万円**
老朽化による改修工事（来年度へ繰越）

### 学校給食費物価高騰対策支援金
**7068万円**
学校給食費の半年分の支援を行った

### 保育所等運営委託料
**11億1200万円**
町の乳幼児が通う町内外の保育所等の運営費の一部を交付

### 保育所等整備事業補助金
**2億3163万円**
下高場に新設の保育園整備費の一部を補助

### 中牟田小学校第2学童保育所新設
**7606万円**
児童数の増加により新設を行った

### ため池対策事業
**1億3543万円**
峯古野池（みねふるのいけ）浚渫工事、劣化状況評価10ヶ所等

### 町民一人当たり町内産新米5kgを配付　1億3991万円
地産地消推進及び
物価高騰支援として実施




古山代表監査委員

# 代表監査委員による決算審査報告

令和7年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに基金の運用状況、また水道事業会計、下水道事業会計については、計数に誤りはなく、適切・適正に執行されていることを確認した。

諸物価の高騰や社会保障費、人件費の増加など財政運営を取り巻く環境が厳しくなる中、最小の経費で最大の効果を上げることを念頭に、全職員の創意と工夫により事務事業の精査・見直しを行い健全な財政運営につながることを期待する。

## 決算審査特別委員会での主な質問及び回答

### 農　業

**問　多面的機能支払交付金事業は、人件費・物価が上がっているが、国の交付金は減額され地域での事業が難しくなっているが。**

答　農業用水路等の長寿命化事業の交付金は近年約7割となっている。予算の確保について国・県へ要望を行っていく。（農林商工課長）

**問　農業が続けられるよう継続した経営安定対策交付金を。**

答　国の制度であり、交付金を適切に活用した事業を行い営農継続に努めていく。（農林商工課長）

### 福　祉

**問　自立支援給付費が前年度から約8千万円増加しているが。**

答　自立支援給付費は年々増加しており、特に就労支援、共同生活援助、生活介護、児童発達支援、放課後デイサービスが増加している。今後も、適切なサービスの内容や支給量を決定し、障がい者・障がい児の日常生活の向上を図っていく。（福祉課長）

### 安心安全

**問　消防団入団者の減少が今後も考えられるが、どのような対策を行ったのか。**

答　消防団加入促進強化補助金を活用し、団員による戸別訪問を行い、7年度は21名の新入団員を確保できた。（環境防災課長）

### ふるさと納税

**問　ふるさと応援寄付金が前年度より約7200万円の増額となっているが。**

答　令和7年度は米の価格が高騰したため、返礼品の米に人気が集まり増額となった。（企画課長）

### 大刀洗平和記念館

**問　入館者が前年度より約3600人減少しているが。**

答　令和6年度は、映画「ゴジラ－1.0」の震電の影響で入館者が増えたため比較し減少した。

また、キリンビールのコスモス花園がなくなり秋の入館者が減少している。（大刀洗平和記念館長）

### まちづくり

**問　区長への行政事務委嘱内容の見直しは。**

答　広報紙の配布の見直しの意見もあり、民間委託の実施について協議をすすめている。（総務課長）

**問　広報紙を民間委託することにより、コミュニティがとれなくなることも懸念されるが。**

答　区長会でもそのような意見があり、今後、検討・協議をすすめていく。（総務課長）

**問　少年大使館（南部5区コミュニティ）運営費の助成額を見直し、地域住民が使いやすいようにしては。**

答　南部5区コミュニティでは、色々な活動を実施され感謝している。協議会と協議・検討を行う。（企画課長）

**問　行政機構の改革（見直し）の状況は。**

答　各課の問題点・体制・事務量等の課長ヒアリングを行い参考としている。令和10年度に実施の予定ですすめている。（総務課長）

### 学校教育

**問　コミュニティ・スクール事業における地域や保護者が主体的に関わる活動づくりの具体化は。**

答　各学校の学校運営協議会と協議し、三並小学校では、子どもの良さを褒める「さくらカード」、夜須中学校では、運営協議会委員が清掃の見守りを行い子ども達との関わりを持っている。（教育課長）

### 子育て

**問　三輪小学校の学童保育待機児童対策を急ぐべきでは。当面、男女共同参画センター（リブラ）の活用はできないか。**

答　令和8年4月時点で23名の待機児童が発生しており喫緊の課題となっている。令和9年4月に向けて既存施設の活用の可能性について調査をすすめている。（こども課長）



# 議決結果

## 令和8年 第3回定例会

| 区分 | 審議結果 | 議案名＼議員名 | 平田 英司 | 原田 邦男 | 池松 和彦 | 原口 博文 | 原田 宏 | 木村 和彦 | 石橋 里美 | 柳 雅明 | 山本 一洋 | 奥村 忠義 | 山本 久矢 | 河内 直子 | 寺原 裕明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 諮問 | 適任 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 報告 | | 株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の経営状況の報告 | 報告のみ | | | | | | | | | | | | |
| 報告 | | 令和7年度筑前町財政健全化判断比率 | 報告のみ | | | | | | | | | | | | |
| 報告 | | 令和7年度筑前町公営企業の資金不足比率 | 報告のみ | | | | | | | | | | | | |
| 報告 | | 筑前町吹田地内での井戸ポンプ破損事故 | 報告のみ | | | | | | | | | | | | |
| 報告 | | 上高場グラウンドでの看板接触事故 | 報告のみ | | | | | | | | | | | | |
| 専決 | 承認 | 令和8年度筑前町一般会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決 | 承認 | 後田1号線道路改良工事請負変更契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町職員の旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町立大刀洗平和記念館条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| | | | (反対討論)寺原：収支のマイナスは町全体の収支の中で考えられるべきものであり、入館者への負担を増やすことは極力避けるべき。 | | | | | | | | | | | | |
| 条例 | 可決 | 令和8年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和8年度筑前町一般会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和8年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和8年度筑前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和8年度筑前町下水道事業会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 補正予算 | 可決 | 令和8年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町一般会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | (反対討論)河内：ひとつの任意団体である部落解放同盟への600万円を超える補助金は、町民の理解を得られるものではない。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | (賛成討論)平田：部落解放同盟は、あらゆる差別の撤廃に資する活動をしている団体であり、補助金交付決定は適正に実施されている。 | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | (反対討論)河内：高すぎる保険税に、町民は悲鳴をあげている。黒字分は基金に積み立てるのではなく、保険税の引き下げに充てるべきではないか。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | (賛成討論)原田宏：医療費増大や被保険者減少の課題はあるものの、住民の生活を守る医療のセーフネットとして十分に機能していると評価できる。 | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | (反対討論)河内：団塊の世代が後期高齢者となり、高齢者の人数で保険料が上がるという制度のため高い保険料が課せられている。早く元の老人保健制度に戻すべき。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | (賛成討論)原田邦男：健康診査や介護予防を一体的に進め、住民の健康づくりと医療費適正化の推進を期待する。 | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | (反対討論)河内：平成28年度には完了しているはずの事業であり、法的措置も含めた早期解消を行うべきである。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | (賛成討論)池松：収納対策アドバイザーや弁護士の指導の下、適正な業務運営が遂行されると認められる。 | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町下水道事業会計決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度決算 | 認定 | 令和7年度筑前町水道事業会計決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 訴えの提起(所有権移転登記手続請求事件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 工事請負契約の締結(中牟田小学校トイレ改修工事) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 工事請負契約の締結(東小田小学校トイレ改修工事) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 工事請負契約の締結(三並小学校トイレ改修工事) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 工事請負契約の締結(金山池土砂撤去及び豪雨対策工事) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 財産の処分(四三嶋工業団地造成地) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議長　石丸時次郎は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

# 町政のここが聞きたい!

一般質問



9月議会定例会では、8名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めました。

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。

発言の全内容(録画配信)は下記のQRコードからアクセスできます。
(※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

◆ 木村　和彦 議員……P8
・安全・安心なまちづくり
・DXの推進について

◆ 平田　英司 議員……P9
・オンデマンドバスについて
・大刀洗平和記念館について
・公共施設の耐震について

◆ 池松　和彦 議員……P10
・子育て支援
・学校プール

◆ 奥村　忠義 議員……P11
・こどもの将来・未来について

◆ 石橋　里美 議員……P12
・子どもたちの熱中症対策について

◆ 河内　直子 議員……P13
・横断歩道の整備を
・中学給食の無償化を
・避難所となっている各小中学校の体育館の空調設備の今後の予定は
・生活困窮者支援と生活保護との違いは

◆ 寺原　裕明 議員……P14
・住みよいまちづくりの推進について
・「ワンヘルス運動」の取り組みについて

◆ 山本　久矢 議員……P15
・小中学校の安全について特に消火設備は十分か
・学校のプール利用時における安全対策について

## 令和8年12月定例会日程(予定)

**12月4日(金)~12月11日(金)**

一般質問

**12月8日(火)・9日(水)**

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、11月27日頃、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

**9月定例会ライブ配信アクセス数**
**323件**

議会映像の配信はこちらから

# 電子投票、町民への周知は

## 広報紙・体験会などで周知をはかる

木村（きむら） 和彦（かずひこ）
議員



### 電子投票の目的と周知について

**木村　電子投票の目的と、この時期に導入された理由。**

総務課長　有権者の利便性向上、正確な投票及び選挙事務の効率化を図る。予定される選挙で一番近い町議会議員選挙に用いるため。

**木村　電子投票を実施された自治体の状況は。**

総務課長　新富町でのアンケート調査では満足度95・2％の高い評価を得ている。

**木村　町民への周知について対応は。**

総務課長　広報紙やホームページでの周知を行う。またブース等を本庁舎に設置し、各イベント団体向けの体験会などを計画している。

**木村　視覚障がい者や投票機に対応できない方へのサポート体制は。**

総務課長　支援を要する有権者には本人の意思を確認した上で代理投票にて対応する。操作については係員が説明できる体制を整える。



体験ブースのタブレット

### 人口減少地区や自治会未加入者増加地区の対応について

**木村　自治会未加入者地区において広報紙等の全戸配布に不満の声があるが対策は。**

総務課長　町民へ広報紙を確実に届け、かつ区役員の負担軽減の観点から広報紙配布を民間委託に変更することを協議している。

**木村　人口減少に伴う高齢化地区・自治会未加入者増加地区は災害発生時の共助が発揮できないのでは。**

総務課長　大規模災害の共助の一躍となるよう、自主防災組織推進・防災士育成・総合防災訓練を実施して共助の意識向上に努めている。

**木村　新規転入者に対して自治会加入を促す対策は。**

総務課長　区長会と共同で共助の大切さなどを掲載した加入促進のチラシ作成を協議している。

**木村　人口減少・自治会未加入者増加の現状のなか複数の近隣自治会が合同で行うコミュニティ活動に支援ができないか。**

企画課長　地域コミュニティの希薄化が懸念される中、メリットを示す機会の事業であれば支援すべきであり、検討課題と捉え研究していく。



ひらた　えいじ
平田 英司
議員

# 公共施設の耐震について

## 耐震性のない建物は、原則解体の方針



### 公共施設の耐震について

**平田　近年では、異常気象により災害が多発している。本町において公共施設の耐震調査・結果・対策については。**

財政課長　町の計画基本方針は、予防保全型の計画的な維持管理・利用が見込めない施設の転用や統廃合・維持管理費の削減であり、調査内容は大きな課題のない施設・耐震性の確認が必要な施設・老朽化対策や大規模改修が必要な施設で、施設の性質ごとに8分類した結果、耐震性のない建物が、44棟あり解体が進んで、現在42棟となっている。これらの建物は原則として解体の方向です。跡地については町の方針をふまえ、安心安全な公共施設やインフラを計画的に進める。

**平田　早急に計画を立て維持管理費削減及び人命第一で取り組んで欲しい。**



### オンデマンドバスについて

**平田　近年の異常気象で、交通弱者の利用者が待ち時間での体調不良になるおそれがあり乗降場の日除け・椅子等の整備が必要では。**

企画課長　オンデマンドバスの乗降所整備が出来ない理由は、乗降所221箇所と多い事・場所や法律の規制がある事・予約制で長時間待つ前提でない事・整備や維持に多額の費用がかかる事、騒音やゴミなど地域トラブルの心配がある。利用者の工夫や協力を得ながら運用していく。

**平田　設置可能な箇所や民有地の方との相談など行い、待ち時間が長くならないよう要望する。**

### 大刀洗平和記念館について

**平田　掩体壕の来館者説明用にタブレット端末の貸し出しを行っているが、自身のスマートフォンでのQRコード読み取り機能を利用した説明方法は導入出来ないか。タブレット貸し借り負担、外国人向け翻訳も可能では、様々な観光地で利用されているが。**

大刀洗平和記念館長　戦跡掩体壕の整備にあたり、国の交付金を活用しタブレットを導入、デジタル技術を活用した平和の拠点づくり等整備計画に基づき、計画期間中の2029年まで現行方式で取り組んでいく。タブレット活用についての課題もあり期間後の取組について調査研究を行う。また、インバウンド対策のサービス提供についてもあわせて調査研究を行う。

**平田　館内アプリでの、掩体壕案内等出来るような検討を経費削減とあわせて要望する。**

# 町の子育て支援は

## 子育て家庭の声を大切にしていく

池松（いけまつ） 和彦（かずひこ）
議員



### 子育て支援

**池松　子育てはワンオペ育児、アウェイ育児にならないようにしていきたい。町の子育て支援の状況は。**

**こども課長**　筑前町子ども計画に基づき妊娠、出産、子育て期まで、切れ目のない支援に取り組んでいる。保育所、学童保育、子育て支援センターなどで顔の見える支援に力を入れている。特に保育園は5園から11園に拡充した。

**池松　物的支援として、子育て世代にも好評だった新米の配布は行うか。**

**町長**　我が町は「とかいなか」という田園都市を目指している。住まわれている方に田園の豊かさ、喜びを味わっていただきたい。前向きに検討していく。

**池松　遠方の高校に通う高校生への通学費補助は可能か。**

**こども課長**　補助している自治体もあるが、財政負担も生じる。修学支援制度の情報提供を行っていく。



ぼくとわたしの願う父母像

一、尊敬し合い、仲むつまじい父母
二、教養を身につけ社会性に富む父母
三、他人に迷惑をかけない責任感の強い父母
四、良い事をした時は、心からほめ励ましてくれる父母
五、いけない事をしたら真の愛情をもって叱ってくれ正しい方向に導いてくれる父母
六、子供が心配事を相談したら、一しょに考えて相談にのってくれる父母
七、父親としての自覚を備え、威厳を持つお父さんと、温か味のあるやさしいお母さん
八、人の子も自分の子と同じように愛情をもつ父母
九、常に感謝の心を持ち祖先や年寄りをうやまい大切にして明るい家庭を築く父母
十、他人と比較をしない父母
十一、根性、忍耐力のある働く事の尊さをしつけてくれる父母
十二、積極的に世のため人のため喜んで働く父母
十三、常に健康で、スポーツやレクリエーション的な事を親子一しょに楽しんでくれる父母
十四、ユーモアを解し、ぐちを言わない父母
十五、子供たちからいつまでも忘れられない父母

私たち朝倉郡町村婦人会連絡協議会は日頃から、地域社会の「非行・犯罪防止の輪をみんなでひろげましょう」というスローガンのもとで子供たちの健全なからだと精神の向上育成のため「愛の一声運動」をよびかけて参りましたが、前に掲げた項目は子供たちからの、お父さん、お母さん方への要望です。
大人の私たちも大いに反省すべきことと負うた子に教えられた感が致します。この子供たちからの願いを一つでも実行し、明るい家庭をつくりましょう。

朝倉郡町村婦人会連絡協議会

子育てはいつでも大変

### 学校プール

**池松　水泳授業の民間委託が増えている。今後の考えは。**

**教育課長**　民間委託はメリットもあるが、財政的負担や時間のロスも大きい。プールの老朽化が進めば研究していく。

**池松　授業以外でのプールの活用について、特に夏休みのプール開放はどうか。**

**教育課長**　事故の懸念で令和6年度以降行われていない。管理体制を整える必要があり、持続的に実施できるか研究していく。

**池松　過去に再開しようという学校もあった。懸念もあると思うが研究検討をお願いしたい。**

おく むら ただ よし
# 奥村 忠義
議員

## 少年犯罪を未然に防ぐ
### 判断力や行動力の育成を図る



**悪の誘いにのらない**

**奥村** 闇の犯罪グループに勧誘されないための教育が必要ではないか。

**教育課長** 規範意識を育むことが大事。警察や弁護士など、専門的な知見や経験を持った講師を、招いた学習会を行っている。

**匿名・流動型犯罪グループ「トクリュウ」への対策は**

**奥村** 未来までをも奪い兼ねない、狂暴で劣悪な犯罪に関わらないための教育をどう捉えているか。

2025年に「トクリュウ」が関与した事件では1万2178人が検挙され、そのうち10代の少年が11%の1323人に上っていたが。

**教育長** 大切なことを三つの視点から考えている。一つは、ならぬものはならぬと言うことを徹底して教える。二つ目は心の教育、心の強さを育てる。三つ目は、非行の兆候は幼児期・小学校も含め早い時期から見られる。学校、家庭、地域が連携し、子どもの行動の変化に気づいて、適切な指導を行うことが大切である。



高額な闇バイト

**少子化対策への取り組みは**

**奥村** 出生人口等も踏まえた対策は。過去の質問による回答では国の施策に準じて取り組んでいくとのことだったが。

**こども課長** こども計画に基づき、健やかな成長と子育て家庭を社会全体で支えるという視点で、保育環境の整備、子育て支援や教育環境の充実、こどもの安全安心の確保に取り組みを進めている。

**町長** 筑前町の出生率は伸びている。県、全国平均よりも上回っている。しっかりしたビジョンを共有しながら進めることが、出生率も含め、人口が定着すると考えている。

**奥村** お見合いのイベントを開催してみては。

**こども課長** 今年度は一泊二日で、国立夜須高原少年自然の家で婚活イベントを計画している。

**奥村** 成功の有無を問わず第二弾三弾の考えはあるか。

**こども課長** 今回の実施状況や、参加者の反応などを検証したうえで、継続的な実施について検討していく。

# 冷水機の導入について

## 自分で必要な水・お茶を持参し管理をする

石橋（いしばし） 里美（さとみ）
議員



### 子どもたちの熱中症対策について

**石橋　登下校中の熱中症対策として、学校ではどのような指導をしているのか。**

教育課長　帽子をかぶる・水筒を持参しこまめな水分補給・充分な睡眠・朝食の摂取など体調管理を行う。

**石橋　日傘やネッククーラー、ファン付きベストの着用など、子どもの命を大切に、柔軟な対応を検討するよう要望する。令和4年9月定例会時に回答された冷水機の調査研究はされたのか。**

教育課長　抗菌仕様や自動洗浄装置を装備され衛生面でも安全が確保できる技術が開発されていること、さらに学校の管理にかかる負担の面からも検討してきた。

**石橋　児童生徒が持参した水筒の飲み物が空になったとき、学校はどのような対応をしているのか。**

教育課長　水質管理された学校の水道水を利用。

**石橋　筑前町の夏場の水道水の温度は何度か。**

教育課長　午前8時45分頃の総合支所で平均29・1℃。

**石橋　学校の水道水はもっと高いと思われるが。**

教育課長　測定はしていないが、貯水槽自体の断熱性はあるが高くなっていることも考えられる。



**石橋　熱中症対策として有効な水温5℃から15℃の水温で水筒に補給でき、持参する水筒の小型化も図れるボトル給水型の冷水機の導入を提案するが、教育長の所見は。**

教育長　本町は児童生徒数が多く各学校とも複数台設置する必要があり、財政上の負担が大きい。熱中症の恐れがあると判断した場合、養護教諭が経口補水液や氷を配布し対応している。学校は暑さ指数を計測しており、指数が一定数超えた場合は教育活動を制限している。これまで通り、一人ひとり自分が必要な分量の飲み物を持ってきて、自分で自分の管理を行う。

**石橋　クーリングシェルターに指定している公共施設へ試験導入し、課題検証を基に小・中学校への導入に繋げ、未来を担う子どもの命を守るよう要望する。**

河内（かわち） 直子（なおこ）
議員

# 義務教育は無償というのなら、中学給食の無償化を

## 中学給食の無償化は大賛成

### 次は中学給食の無償化を

**河内** 義務教育は無償というのなら、次は中学給食の無償化をすべきではないか。

**町長** 多くの市町村が望むところでもあるので、歩調を合わせて要望していきたい。



**河内** 県に対しても全国の進んでいる例を取り上げ、働き掛けをすすめてもらいたい。

**町長** 県への要望も理事会等で主張していきたい。



### 横断歩道の早急な整備を

**河内** 美和みどり保育所の駐車場前の横断歩道は、劣化のため、消えかかっている。保育所横の駐車場はスペースが狭く、多くの保護者は道路を挟んだ先の駐車場を利用して、子どもの送り迎えをしている。子ども達の安全・安心を守るために、早急に補修すべきでは。

**建設課長** 現状において、8割から9割程度消えているが、道路交通法の規制であり警察の対応になる。朝倉警察署でも確認しており、既に県警本部へ上申している状況だが、実施月については、はっきりと断言できない。

### 体育館のエアコンはガスヒートポンプエアコンで

**河内** 中学校はガスヒートポンプエアコン、小学校は電気のエアコンときいているが、災害時には、停電が心配だ。残りの小学校については、停電でも使える、自立型のガスヒートポンプエアコンにすべきでは。

**教育長** 整備事業は既に進行しており、停電が起こった場合についての対応策は別に考えていきたい。

### 生活困窮者自立支援より生活保護申請を

**河内** 生活困窮者自立支援制度はセーフティネットとして弱い施策。生活保護の利用をさせないために機能している。生活保護の申請に来た方は、すべて保護申請をしているのか。

**福祉課長** 本人の希望を優先尊重し、県の指導の下、適切な対応に務めている。また、生活保護の決定までの期間、生活が困難な場合は、社会福祉協議会や困りごと相談につなぐ等、相談者に寄り添い対応している。

**河内** これからも誰一人として取り残さない、一人ひとりに寄り添った政策の展開を要望する。

# 筑前町におけるワンヘルス運動の取り組みは

## 町の施策として必要があれば、事業の実施を検討する

寺原（てらはら） 裕明（ひろあき）
議員



### 筑前町ワンヘルス推進宣言と取り組みは

**寺原** 令和6年12月にワンヘルス推進宣言を行った経緯は。

**総務課長** 県策定のワンヘルス推進行動計画により、県への積極的な協力が求められた。

**寺原** ワンヘルス運動の理念(※)は間違いないが、運動の推進については不透明な部分が多い。町長の見解は。

**町長** 報道に関する県からの直接的な説明はなく、町として特に取り組んでいる事業はない。昨今は厳しい意見も出ており、県の動向をしっかり注視していきたい。

**寺原** 今後とも町民からの理解が得られるような形で、取り組みを進めていただきたい。

### 地域コミュニティづくりの推進を

**寺原** 近年、「区長のなり手がいない」、「転入者が区に入らない」、「子ども会に入らない」等、地域コミュニティの希薄化が著しい。町はどのように分析しているか。

**企画課長** 地域コミュニティの維持活性化は喫緊の課題であると考えている。地域づくりの支援やコミュニティの醸成に向けた取り組みを進めている。

**寺原** 具体的な取り組みとしてはどのようなことがあるか。

**企画課長** 行政区の負担軽減として、広報誌の配布の改善、転入者が行政区へ入るためのチラシの作成などである。

**寺原** 平成21年度に南部地区コミュニティセンターとして、少年大使館が始動している。当初の計画では後に続くコミュニティセンターがつくられる予定であったが、実現していない。その理由は。

**企画課長** 筑前町は現在の行政区がしっかりと機能していることや、複数区合同のコミュニティセンターになると運営が厳しくなるとの理由から、新しい施設はつくられていない。

**寺原** 地域コミュニティの推進のためには、何らかの施設は必要と考える。町長の見解は。

**町長** 筑前町には4つの小学校があり、少年大使館と合わせて5つの施設をフルに活用してやっていくことがいいのではないか。

**寺原** 私もコミュニティスクールが活用できればいいと思っている。

今、何ができるかというところで地域コミュニティの推進を図っていただきたい。

※ワンヘルスの理念とは、人の健康、動物の健康、地球環境の健全性は一つにつながっているという考え方

山本（やまもと） 久矢（ひさや）
議員

# 児童・生徒の安全は

## 安全確保に努めている

### 消火設備等は十分か

**山本** 町内の小中学校に設置されている屋内消火栓、自動火災報知設備など、法定点検は適切に実施されているのか。

**教育課長** 消防設備は、消防法に基づき、定期的に専門業者による法定点検を実施している。

**山本** 小学校を訪問した時に、消火設備のポンプが動かず、消火栓から水が出なかった。火災があったら大変なことになると考えるが、不具合が見つかったときの対応は。



**教育課長** 消防用設備の不具合が発見された場合、緊急度に応じて段階的に対応している。軽微な修理については、予算措置を講じ計画的な修繕としている。

**山本** 火災があった場合、子どもたちの誘導や避難を適切に行えるように、消防署と連携した訓練が必要と思うが、合同訓練は行っているのか。また、教職員は消火設備を適切に使えるのか。




**教育課長** 教職員が火災時に適切な対応ができるよう、年2回の火災避難訓練を実施しており、消防署の指導のもと、避難誘導訓練を計画的に実施している。

### プール利用時の安全対策は

**山本** プール活動時の安全体制確保。教職員は事故があった場合に救命活動が出来るのか。教職員たちの救命講習等は行っているのか。

**教育課長** 指導する教職員と監視する教職員を配置している。普段は救命講習を、適宜消防署の協力を得て実施している。

**山本** 学校等の安全について、プール授業時における安全対策についての見解は。

**教育長** 全国で水難事故・交通事故等、子どもが巻き込まれる事故の報道を見るたびに、本町でもしっかり子どもたちを見守っていかなくてはいけないと痛感する。学校で子どもたちが生き生きと活動し安全に学べるためにも、子どもの命が尊重され、身の安全が守られることが大前提だと思っている。プールの定期的な点検、水泳指導する教職員の訓練を定期的に行わなければならないと考えている。



# 議会改革の一歩は、議会活動の公開から

## 各議員による一般質問の主な内容をお知らせします。(令5年3月～令8年9月)

一般質問は政策に取り組み、よりよいまちづくりをめざす議員にとって、住民から大きな関心と期待を持たれる議員活動であり、行政を監視したり、政策を提言したりなどの役割を担っています。今後は、各議員が質問回数を増やしたり、内容を深めたりすることで、町行政の施策や実現具合をチェックし、よりよいまちづくりに繋いでいくことが大切であると考えます。

今後とも町民の皆様からのご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

議員活動は地域活動、委員会活動等多岐にわたります。今回は議会活動の質問状況を公表します。

| 議席番号 | 氏　名 | 質問回数 | 主　な　内　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 平田　英司 | 4回 | (任期R7.4.14～)　農業施策・学校教育・特産品・オンデマンドバス |
| 2 | 原田　邦男 | 6回 | 農業施策・消防団・人口減少問題・ふるさと納税 |
| 3 | 池松　和彦 | 11回 | スポーツ・学校教育・少子化対策・子育て支援 |
| 4 | 原口　博文 | 4回 | 公共下水道・北部地域対策・道路河川・防災対策 |
| 5 | 原田　宏 | 5回 | みなみの里・観光資源・町の景観形成・避難計画 |
| 6 | 木村　和彦 | 6回 | 流域治水・RTK基地局・こども達の健全育成・防犯 |
| 7 | 石橋　里美 | 10回 | 公共施設整備・ワクチン接種助成・不登校児童への支援・5歳児健診 |
| 8 | 柳　雅明 | 10回 | 森林環境・有害鳥獣・農地法・小規模特認校・町の将来像 |
| 9 | 山本　一洋 | 4回 | 病児保育・子育ての環境・教員の働き方改革・まちづくり |
| 10 | 奥村　忠義 | 8回 | 住環境・いじめ問題・こども食堂・タブレット活用 |
| 11 | 山本　久矢 | 4回 | 少年育成・交流事業・交通安全対策・公共施設 |
| 12 | 河内　直子 | 15回 | 機構改革・助成制度・給食無償化・体育館空調 |
| 13 | 寺原　裕明 | 8回 | 学校教育・ハラスメント防止・学区制度・住みよい町づくり |
| 14 | 石丸 時次郎 | 4回 | (R7.2月～議長就任)　農業問題・ＡＩ活用・食育・町の賑わい |

※質問回数は、令和5年3月議会から令和8年9月議会までの全15回です。
※令和8年12月議会のうぐいすは改選時期(令和9年1月)で発行はいたしません。

筑前町議会　議会運営委員会

## 編集後記

うぐいす82号をもって、今期6名での広報委員会の活動を終えます。広報紙作りでは、まちかどトピックスや表紙の撮影などで町内、町外と色々なところに出向きました。表紙は「人」をテーマとし、撮影、インタビューと共に関係者の方と様々なお話ができ、視野が広がりました。作成においては議会事務局の協力もあり、滞りなく作成できました。これからも議会だより「うぐいす」を、より多くの方に読んでいただけるように取り組んでいきます。

ご協力いただきました町民の皆さまにも感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(池松 和彦)


**発行責任者**
議長　石丸時次郎

**議会広報特別委員会**
委員長　池松　和彦
副委員長　原田　邦男
委員　平田　英司
委員　原口　博文
委員　原田　宏
委員　石橋　里美

印刷／井上紙工印刷㈱　福岡県朝倉市持丸625-1　☎0946-22-3951